

7/6 野牛漁協荷捌施設建設工事 安全祈願祭が行われました

野牛漁港において、『野牛漁協荷捌施設建設工事安全祈願祭』が挙行されました。

野牛漁協の荷捌施設は昭和54年度及び昭和60年度に整備されたものの、近年は老朽化等が著しく人命に影響を及ぼす可能性が極めて高く、早急な改善が求められていたことから、新荷捌施設の建設に至ったものです。

安全祈願祭では、工事発注者である野牛漁協三國優組合長より「品質・衛生管理対策に万全を期した閉鎖型であり、これまで以上に水産物の鮮度保持が図られ、消費者が求める食の安全・安心に対するニーズに応える水産物の生産流通拠点として努めて参ります。工事にあたっては、施工業者、設計・監理業者には、安全と優れた技術の結集をもって施設の完成を目指して頂きますようお願い申し上げます」と挨拶がありました。

安全祈願祭には、三國優組合長をはじめ、畑中稔朗村長、村議会議長、施工業者など約20名が参列し、工事の安全成就を祈願しました。



斎鍬を行う三國組合長



玉串奉奠を行う畑中村長

7/9 『学校図書』に対し寄付金をいただきました！



和田さん㊦と畑中村長㊧（寄付の様子）

村役場に“合同会社 介護サービス事業所 なごみ 『和』”の代表を務める和田静子さんが来庁し、「子供たちの愛くるしい笑顔や普段の礼儀が素晴らしく、感動しました。子ども達の未来のため、学校図書にご活用いただきたい」と、寄付金を手渡されました。

寄付に対し、畑中稔朗村長は「今のご時世、コロナ等で明るいニュースがなかなか無い中、このような心温まる寄付をいただき、とても嬉しく思います。子供たちのために活用させていただきます」と感謝の気持ちを伝えました。

貴重な寄付をいただき、本当にありがとうございました。